

鹿児島大学総合研究博物館

第2回特別展

地球からのめぐみ - 金 -



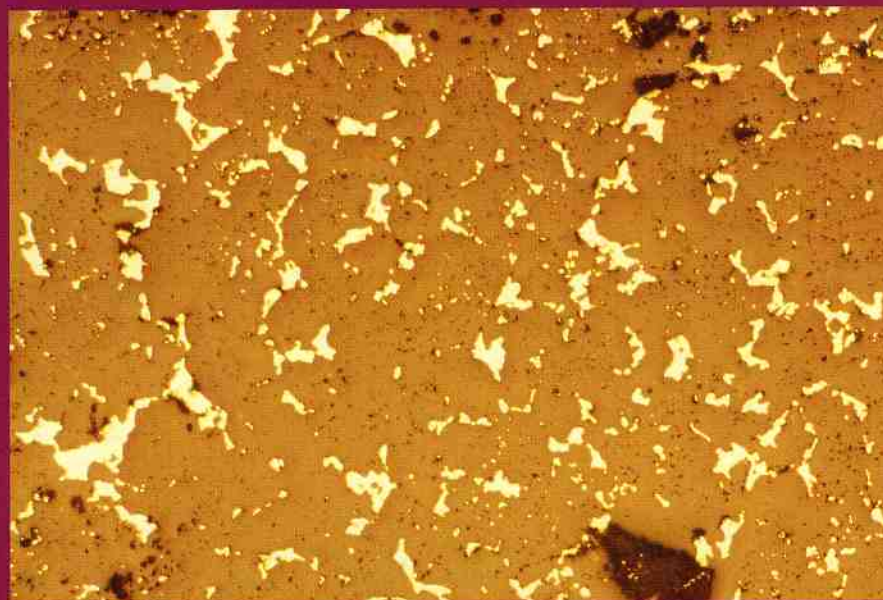
期間◆2002年10月24日(木)~11月26日(火) 期間中全日開催

場所◆鹿児島大学郡元キャンパス

総合教育研究棟 2F プレゼンテーションホール

開館時間◆9:30~17:30

◆入場無料◆



市民講座 表題◆地球からのめぐみ - 金 -

講師◆浦島幸世 鹿児島大学名誉教授

日時◆11月16日(土)14:00~16:00

場所◆鹿児島大学郡元キャンパス総合教育研究棟2F201

第2回特別展

地球からのめぐみ - 金 -

2002年10月24日(木)～11月26日(火)

みなさんは、金ということばかり何をイメージされますか。ツタンカーメンの黄金のマスク、それとも身近な装身具、たとえば金の指輪、ネックレスやイヤリングでしょうか。

金はさびることのない安定した金属で、いつまでも輝きを失わないことから、ひとびとのあこがれの的でした。インカ帝国の金細工に代表されるように、いにしえから金は権力の象徴でもあったようです。

金は美しいだけでなく、役に立つ素材ともなります。フルート奏者にとって、金のフルートは柔らかく美しい音色を出してくれます。また、最近のハイテクにも金が欠かせません。宇宙を飛ぶ人工衛星は金の衣をまとい、太陽光線の熱からハイテク機器を守っていますし、コンピュータや携帯電話に使われているチップには金線が使用されています。

しかし、地球の内部にあった金が地表近くに濃縮するメカニズムや、人々がそれをどのように取り出すのかについてはあまり知られていません。

私たちが住む鹿児島県は、日本一の金の産出量を誇っています。1981年に、北薩の菱刈町から金を多く含む高品位の鉱脈が見つかりました。それ以来、多くの鉱山にかかわる研究者や技術者が鹿児島を訪れ、金に関する研究が行われてきました。

このような背景のもと、鹿児島大学総合研究博物館では、浦島幸世 鹿児島大学名誉教授に全面的なご協力をいただき、第2回特別展「地球からのめぐみ-金-」を開催する運びとなりました。浦島幸世先生は鉱床学の第一人者で、北海道大学理学部および鹿児島大学教養部において、金、銀、銅などの金属鉱床元素について研究を重ねてこられました。

本特別展では、日本の金鉱山、鹿児島の金鉱山にスポットをあて、これらの鉱山から産出した金鉱石の展示、金鉱脈のできかた、金鉱石採掘の方法と歴史、金の用途などについてわかりやすく解説します。なかでも、浦島幸世先生が国内外の金鉱山で調査研究を行った際にサンプリングされた金鉱石標本は、ぜひご注目いただきたい貴重なものです。

この展示を通じ、鹿児島県とかわりの深い金について、さまざまな角度からご理解いただけることと存じます。みなさまお誘い合わせの上、本特別展にぜひお越しください。



住友金属鉱山(株)菱刈鉱山産金鉱石

山田鉱から採掘された金鉱脈で、左側の金鉱石の大きさは、ほぼ2m、奥行1m、高さ1.4m、重量は約4トン。鉱脈そのものの標本としては日本で最大級。



交通案内

■ バス

市バス「法文学部前」下車徒歩3分、「騎射場」下車徒歩10分
鹿児島交通 バス「騎射場」下車徒歩10分

■ 市電

「工学部前」下車徒歩8分

■ JR

鹿児島本線「西鹿児島駅」下車、バス・電車で15分
指宿枕崎線「郡元駅」下車徒歩12分

■ 自動車

九州自動車道(鹿児島IC)より15分。車の入構は、農学部門、図書館前門をご利用ください。土・日・祝日はキャンパス内の駐車場は利用できません。ただし大学祭期間中の11月16日・17日は利用できます。